

## 2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月4日作成)

小委員会名	鋼構造次世代設計規準検討小委員会	主査名：山田 哲 就任年月：2020年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主査名：井戸田秀樹
設置期間	2020年4月 ～ 2024年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>大地震に対しする倒壊防止から機能維持へといった建築構造への社会の要求の変化や、計算機の普及・進歩といった技術の進歩を踏まえ、現行の鋼構造の設計における問題点を洗い出すとともに、具体的解決策を検討し、新しい設計規準(案)の提案を行う。</p> <p>初年度：現在の設計規準における問題点の抽出し、今後の技術の進歩・社会の要求の変化・国際化に対応できる設計規準について議論を進める。大会においてPDを開催し広く意見を求める。</p> <p>2年度：引き続き現在の設計規準における問題点の抽出し、今後の技術の進歩・社会の要求の変化・国際化に対応できる設計規準について議論を進める。新しい体系を検討し、骨格の原案の作成に着手する。</p> <p>3年度：新しい設計規準の大枠について、原案を作成する。</p> <p>4年度：取りまとめた資料によりシンポジウムを開催し、新しい設計規準・指針を作成する上での課題を整理する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：山田 哲(東京大学) 幹事：浅田勇人(神戸大学) 委員：井戸田秀樹(名古屋工業大学), 宇佐美 徹(竹中工務店), 岡崎太一郎(北海道大学), 吉敷 祥一(東京工業大学), 倉田 真宏(京都大学), 聲高 裕治(京都大学), 小山 毅(東京電機大学), 佐藤 義也(日本設計), 竹内 徹(東京工業大学), 田中 剛(神戸大学), 向出 静司(大阪大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2020年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. コロナ禍により2020年度大会で計画していたPDが中止となったため、1年延期した。そのため、広く意見を集めることは先送りとなったが、小委員会内の議論は進めた。概ね順調に進められていると考えている。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ禍によりオンライン形式での小委員会開催となったため、以前からの交流があまりない委員間での意思の疎通が十分できていたかと言う点にはやや不安が残る。とはいえ、無理に対面で開催するようなことはあり得ないので、コロナ禍が収束するのを祈るだけであるが。